

⑧ 留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会

2040年に実現したい姿

【国際交流が暮らしの中に根づいている社会】

- ⑦ 行政、企業、地域、府民のあらゆるステージにおいて、日常的な国際交流が実現しています。

【多文化共生の社会】

- ⑧ 外国人が地域の担い手・働き手として参画し、様々な国籍や文化を持った府民が相互に理解を深め、互いを尊重し合いながら暮らす多文化共生社会が実現しています。

4年間の対応方向・具体方策

様々な地域との国際交流を進めます。

- スペインやベトナムなどの新たな地域と、青少年交流やフードテックなど新たな分野での交流を進め、先進的な知見を持つ地域等への視察や交流を通じて、府が抱える諸問題の解決に繋がっていきます。

- 府と友好提携州省との交流関係を生かして、青少年の相互派遣、国際文化芸術公演、スマートシティ連携など様々な分野で、対面とオンラインとのハイブリッド型交流を進め、充実した国際交流を行います。

外国人が地域で住みやすい多文化共生のまちづくりを進めます。

- インターナショナルスクールの誘致や日本語教室の空白地域解消、専門家の活用による外国人及びその子どもたちの日本語教育の機会の増加と内容の充実、災害時支援体制の整備など、地域の受入環境を整えます。

- 外国人が生活する上で、必要な情報を確実に届けるため、「京都府外国人住民総合相談窓口」をはじめとする、外国人に対する生活情報の多言語での提供や、「やさしい日本語」の普及啓発に引き続き取り組みます。

世界中から京都の未来を担う留学生を誘致し、卒業・修了後の京都定着を進めます。

- 日本語学校に通う他府県在住の留学生や海外の学生を京都の大学等に誘致するため、国内外へのプロモーション活動や京都の大学等キャンパス体験ツアー等を実施します。

- 京都の大学等を卒業し府内企業に就職した留学生OBと留学生をつなぐOB交流会の開催やOB訪問を支援するなど、マッチングを促進します。

- 大学、京都府、京都市、経済界等で設立した「留学生スタディ京都ネットワーク」及び京都ジョブパークを中心に、留学生の誘致から就職までの総合的な支援を行います。